

食品新聞

発行所 食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪府北区南船場2-3-30
電話 06(6361)4972
東京 都営本町線 大塚1-1-8
電話 03(3552)3756-4031
名古屋 中区丸の内2-10-11
電話 052(221)5391
支店 広島・福岡
©食品新聞社 2018
THE JAPAN FOOD NEWS
創刊 1953年3月24日

自然の恵みを味に残り、皆様にお届けしたい。

青のり

青のり専門店 株式会社水産

パスタ

くもり曇りあめ

パスタ人気は健在もグローバル化の波高し。国産勢は差別化を加速。

4 業務用油特集
6~8 パスタ特集

ビール定義変更

多様化・活性化に期待大

酒税法改正に伴い4月からビール定義が変わり、多様なビールの展開が可能となる。大手各社も対応商品を準備しており、市場の活性化につながる期待が寄せられている。

大手4社対応商品を投入

これまでのビールは麦とホップと水と酵母で醸成された「クラフトビール」が主流だったが、麦芽の割合が10%未満の「ハイブリッドビール」も登場。大手各社は4月から対応商品を投入する。キリンは「キリンハイブリッドビール」、朝野は「朝野ハイブリッドビール」、サントリーは「サントリーハイブリッドビール」、アサヒは「アサヒハイブリッドビール」を投入する。



大手4社対応商品を投入。キリンは「キリンハイブリッドビール」、朝野は「朝野ハイブリッドビール」、サントリーは「サントリーハイブリッドビール」、アサヒは「アサヒハイブリッドビール」を投入する。

新たな切り口で活性化狙う

低糖質・常温生・パスタなど

国内の小麦生産量は、17年もちょうど3%増の1,700万トンに達した。国内の小麦生産量は、17年もちょうど3%増の1,700万トンに達した。国内の小麦生産量は、17年もちょうど3%増の1,700万トンに達した。

家庭用ドライパスタ

国内の小麦生産量は、17年もちょうど3%増の1,700万トンに達した。国内の小麦生産量は、17年もちょうど3%増の1,700万トンに達した。

油揚げの新会社設立

大豆加工食品の製造。油揚げの新会社設立。大豆加工食品の製造。

逆光線

毎年のように、藻類の発生が深刻化する。逆光線。毎年のように、藻類の発生が深刻化する。

この人と30分



富田博之氏。2年ほど前まで原料高、発表流通再編が進み、環境が激変する中、他社と協業が不可欠と判断し、原料相場が落ち着き、富田博之社長は「竹本と協業が落ち着いた。油と糖のバランスが重要」と語る。

竹本と提携強化で勝ち企業に

今期は増収増益目指す

富田博之社長。竹本と提携強化で勝ち企業に。今期は増収増益目指す。富田博之社長は「竹本と協業が落ち着いた。油と糖のバランスが重要」と語る。

富田博之社長。竹本と提携強化で勝ち企業に。今期は増収増益目指す。富田博之社長は「竹本と協業が落ち着いた。油と糖のバランスが重要」と語る。

REGALO

日本生まれのプレミアム・パスタブランド。

イタリア産完熟トマトの美味しさ。パスタはもちろん、煮込みやスープにも。

REGALO は日本製粉 (NIPPON) のブランドです。http://www.nippon.co.jp